

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	勤労者互助会事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工課			
施策	5-3	誰もが安心して働ける環境・基盤づくり		主管課長	金子 孝行			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内労働者	意図	中小・零細事業所における労働者福祉の充実
事業内容	独自に自社従業員等の福利厚生事業を行うことが困難な市内中小企業を対象として、相互扶助の精神に基づき活動する、勤労者互助会に対し助成を行った。			
事業開始から現在までの状況変化	雇用情勢の不安から、事業主や労働者のより一層の福利厚生面の拡充が求められていることから、勤労者互助会の事業内容の見直しや会員の拡大が課題となっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	会員数	379	394	430	
②	事業費	6,168,850	6,497,686	6,205,993	円	→→	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・会員数は、前年394人に対し430人と36人（9%）増加した。今後は、国の緊急経済対策による景気回復、新たな企業立地などの進展により、会員数も増加してくるものと考えている。 ・実施する福利厚生制度の内容を精査し、魅力ある事業中心に満足度の高い事業の拡充に努めている。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,800,000	1,800,000	1,800,000			
事業費(b)(円)		1,800,000	1,800,000	1,800,000			
うち一般財源		1,800,000	1,800,000	1,800,000			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	会員数の増強と魅力ある福利厚生メニューづくり	③取り組みの課題	景気低迷の影響から会員数の増加が見込めないため、満足度の高い福利厚生メニューで魅力を高める。
②今年度(H26)に実施した取り組み	商工会議所会員へ加入要請及び福利厚生メニューの検討	④今後の改善計画	新規会員事業所・会員の加入強化